



発行
日本共産党
春日部市中央
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

介護保険会特別会計決算質疑

特養待機者225人に

8月29日、9月定例市議会
で今尾やすのり議員は、平成
29年度介護保険特別会計決算
認定について本会議質疑をお
こないました。

軽度者の

介護外しやめよ

介護保険料の滞納率は、所
得段階11段階のうち、もつと
も低い第1段階で33%、第4
段階までを含めると約6割に
も達しています。低所得層ほ
ど、払いたくても払えない状
況です。

第1号被保険者数は、前年

度より1409人増加、高齢
化率は0.7ポイント増え29・
5%となりました。要介護認
定者が増加しているにもか
かわらず、もつとも軽い要支
援1の方のみ前年度比で84人
減少となっています(下図)。
認定の簡素化により、軽度者
の介護外しが懸念されます。
特別養護老人ホームの待機
者数は前年より17人増え22
5人となりました。保険料を
払っていても十分な介護が受
けられず、保険あって介護な
しという状況が続いています。
待機者をなくすために特別養
護老人ホーム増設の積極的な

働きかけが必要です。

基金10億円

負担軽減に活用を

こうした中、30年度から値
上げとなった介護保険料は、
基準額となる第5段階で年額
59760円、前期と比べ年
額51600円の負担増となり
ました。もつとも低い第一段
階の方も年額2万9880円、
25800円の負担増です。

介護保険給付費準備基金の
29年度末残高は約10億539
0万円で、ここ数年10億円か
ら14億円で推移しています。
この基金を介護保険料の負担
軽減のために活用すべきです。
また、利用料の負担が必要
とする介護の抑制を生んでい
ます。ケアマネジャーは、月
幾らまでなら利用料を払える
かを確認し、必要な介護では
なく、払える料金の中でケア
プランを立てなければならな

要介護認定者数の介護度別の前年度比較

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
28年度	1018人	1203人	2110人	16人	1368人	1176人	918人
29年度	934人	1238人	2203人	1791人	1452人	1254人	1005人
増減数	-84人	+35人	+93人	+173人	+84人	+78人	+27人

い実態があります。利用料の
減免制度が必要です。利用料の
誰も安心して十分な介護
が受けられるように、制度の
改善や介護職員の待遇の改善
などを国に強く求めるとも
に、市としても負担軽減と介
護給付の充実を図ることを求
めます。

松本ひろかず議員一般質問

個人の尊厳を基礎 にした道徳教育を



11日、松本ひろかず議員は、①赤沼地区の豊野工業団地拡張(産業団地整備)について、②個人の尊厳を基礎にした道徳教育を、の2点について一般質問をおこないました。

特定の価値観を押しつけることは許されない

道徳教育は、1958年に教科書も評価もない週1時間の「特設の授業」として始められました。201

5年、学校教育法施行規則と学習指導要領が一部改訂され、道徳が「特別の教科」として位置づけられました。

小学校では、今年度から「特別の教科」として実施され、中学校では来年度から実施されます。道徳の教科化により、文科省検定による教科書が用いられ、「評価」が行われるようになります。

道徳の教科化は、子どもたちに「官製道徳」を押し付け、皇民化教育を担った戦前の「修身」の復活とも言うべきものです。

松本議員は「文科省の定めた徳目である特定の価値観(小学校高学年では家族愛、国や郷土を愛する態度

などを22項目)を押しつけて評価することはやってはならないこと」と主張し、市教委の道徳教育についての見解を求めました。

学務指導担当部長は「道徳教育は、児童・生徒のそれぞれが持つ多様な価値観を比べ合うことで、物事を多面的・多角的に考えるようにすることが大切。主体的な学び、多様な学びによりお互いの考えを語り合い、自己の生き方を見つめられるように支援する。良い点や進歩の状況を積極的に評価する」と述べました。

教育長は「道徳は、特定の価値観を押しつけるのではなく、考え、議論する学習活動のなかから生み出された価値観が児童・生徒主体の内面的な成長につながるもの」と答弁しました。

松本議員は「道徳教育は上から押しつけるのではな

く、個人の尊厳と人権を互いに尊重することを基礎においたものでなくてはならない。平和を脅かすような道徳教育にならないように」と主張しました。

産業団地整備に合わせ 温水プール建設を

埼玉県企業局が、市環境センター南側の農地を、産業団地として整備する計画を進めています。事業化に合わせて市環境センターの余熱利用暫定広場に計画されていた温水プールを建設するよう求めました。

市長は「ごみ焼却施設の建てかえ時に検討する」とこれまでと同じ答弁でした。松本議員は「地元自治会からの請願が、合併時に全会一致で採択されている。この機会に建設するよう」求めました。

保健医療

市立医療センター Tel 735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

9/23(日) (内科系)春日部内科クリニック: 備後東1-22-32 電話: 738-6161 (内) (小児科系)名越内科医院: 大枝89
武里団地1-15-101電話: 735-6627(内、胃腸、小、皮、アレルギー、リウマチ) (外科系)分館館医院: 備後西5-4-28電話: 739-3883(産)

9/24(月) (内科系)かすかべ生協診療所: 谷原2-4-12電話: 048-752-6143(内) (小児科系)浜崎医院: 備後西3-8-57 電話: 745-6000
(内、小、皮、胃腸、循、呼、アレルギー、リウマチ、リハビリ、放射線) (外科系)杉浦眼科豊春分院: 上蛭田259-2電話: 754-2333(眼)